

科目ナンバリング		U-LAS02 10009 LJ36							
授業科目名 <英訳>		日本近代文学Ⅰ Japanese Modern Literature I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 須田 千里	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	金3/金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
明治・大正・昭和期の作家の作品を読むことによって、近代文学の基礎的な読解や研究方法を学ぶ。 この講義で扱う作品は、代表作から知られざる傑作までヴェラエティに富む。講義では、丁寧に文章を読みながら、背後の成立事情や一語一語の意味を解明し、作品の発想基盤、構成、主題を追究していく。 授業は教室で対面で行う。受講生は教室にパソコンを持参し、Zoomの画面共有を通じて資料や教員の授業ノート(板書に代わるもの)を見る。教員の授業ノートは、授業後にPandAの授業資料に置くので、受講生は復習に利用する。									
[到達目標]									
授業で扱われた作品について、語句や時代背景、成立事情、構造や主題、作家の問題意識などを理解し、自分の言葉で表現できることが目標である。									
[授業計画と内容]									
1, ガイダンス。夏目漱石「夢十夜」より「第三夜」 2, 森鷗外「寒山拾得」の材源 3, 森鷗外「寒山拾得」の主題、芥川龍之介「きりしとほろ上人伝」の材源 4, 芥川龍之介「きりしとほろ上人伝」の特質 5, 泉鏡花「山吹」の構想 6, 泉鏡花「山吹」の主題 7, 幸田露伴「観画談」の構想 8, 幸田露伴「観画談」の主題 9, 内田百閒「旅順入城式」 10, 谷崎潤一郎「吉野葛」前半の構想 11, 谷崎潤一郎「吉野葛」中盤の構想 12, 谷崎潤一郎「吉野葛」後半の構想と主題 13, 久生十蘭「黄泉から」の材源 14, 久生十蘭「黄泉から」の構想 ≪まとめのテスト≫ 15, フィードバック なお、理解の程度にあわせて進度や内容を調整することがある。									
[履修要件]									
特になし									

日本近代文学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

日本近代文学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

まとめのテスト(持込不可)100%で授業内容の理解度を問う。

[教科書]

PandAにより資料を配布する。

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

配付資料に基づき、あらかじめ作品を読んでおくこと。
主体的に取り組み、授業中の問いかけに積極的に応じること。
作品を読んで考えたことや意見、質問を積極的に出して欲しい。

[その他（オフィスアワー等）]

教室の規模のため、受講者数を制限する。